

町では、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」の取り組みを進めています。町や地域が行うこの取り組みについて、毎月お伝えしていきます。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



福大生が成果を報告 大木戸地区まるごと博物館



◀学生の報告に聴き入る参加者

1月28日、大木戸ふれあいセンターにて「大木戸地区まるごと博物館」の成果報告会が開催され、約40人が参加しました。福島大学の学生13人は、この1年間、大木戸地区に入り、現地視察や文献調査、住民の方からの聞き取り調査を重ね、地域に残る歴史文化遺産について以下の4テーマにまとめ、発表しました。

- ①史跡や文献記録から、大木戸が大木戸である由縁を探った「大木戸の歴史」
- ②江戸時代の村をベースとし、現在まで地域に根差した自治組織として続く大字大木戸区会の歴史と意義を考えた「大木戸区有文書について」
- ③個人所蔵のアルバムから地域の人々が共同で行ってきた作業についてまとめ、地域の結(ゆい)について考えた「古写真にみる大木戸地区」
- ④身近にある様々な場面で多様な信仰や祈りが存在し、信仰をもとに互助的な講(こう)が組織されてきた歴史を調べた「大木戸の信仰と民俗」

会場からは、かつての祭りや風習を懐かしむとともに、4テーマ全てが現在につながる事で、地域を維持させるためには必要なことばかりであったのでは、との感想が出されました。また、指導教員の阿部浩一教授(行政政策学類文化史担当)からは、協力いただいた地区のみなさんへの御礼と、学生の発表が地域に残る歴史文化遺産の継承の一助となればとのコメントがありました。

あつかし歴史館で成果を展示します

当日の発表内容について、特設展示を行います。

桜の聖母短期大学の女子大生 貝田の歴史と食文化に学ぶ



◀国見石のかまどを使ってご飯を炊く学生

1月13日、桜の聖母短期大学食物栄養専攻1年生35人が、貝田地区を訪れ、養蚕住宅見学、かまどでの炊飯、あんぼ柿加工、地域の郷土料理などを学びました。学生のみなさんからは「貝田の自然・街並みと歴史・人の温かさに魅力を感じた」「凍み文化などの昔ながらの食材、料理を学ぶことができた」「歴史的建造物など貴重なものを見せてもらい感動した」などの感想が聞かれました。

今回参加した学生のみなさんには、今後、国見特産の果物を活かしたスイーツ開発など、町の「食と情報発信」に協力いただく予定です。



▲秋葉神社で記念撮影する学生と貝田地区のみなさん



◀地域総出で行った屋根の葺替え作業

期間 2月1日(日)から3月31日(日)※休館日を除く

会場 あつかし歴史館 第2研修室

第3回鹿島神社例大祭フォトコンテスト 入賞作品が決定



第3回鹿島神社例大祭フォトコンテスト表彰式が12月23日、国見町役場で行われました。

今年は町内外から18作品の応募があり、12月13日に行われた審査会において、最優秀賞1点と優秀賞4点が選ばれました。表彰式では、最優秀賞を受賞した佐藤尚久さんをはじめ、受賞者のみなさんに山崎健吉国見伝統文化保存会会長から表彰状が手渡されました。

なお、入賞作品は次のとおりです(敬称略)。



最優秀賞を受賞した佐藤さん(右)

最優秀賞



佐藤尚久
『それ～行くぞう』

優秀賞(4点)



氏家勝治 『笑顔と照れ屋』



佐藤敏子 『華やかな舞』



武田幸吉 『祭りの花形』



吉田光江 『躍る山車』



阿部 煌稀



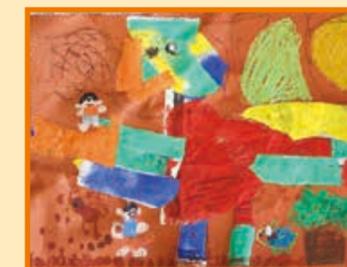
菊地 莉愛

国見小学校 (1年生)

小さな天才たち



モイヤ オリベイラ



紺野 翔